



止めたい温暖化。 始まっているゼロカーボンへの挑戦。

問合せ 環境政策課 ☎(275) 6254

二酸化炭素などの温室効果ガスが大気中にたまり、地球の温度が上がることで地球温暖化がすすみ、記録的な高温や豪雨など、さまざまな形で私たちの生活に深刻な影響が発生しています。市ではこのような状況を踏まえ、温室効果ガスの排出量を 2050 年までに実質ゼロにする「高石市ゼロカーボンシティ宣言」を行い、さまざまな取組みを進めています。今月号では市が行っている取組みや私たちにできることを紹介します。

日最高気温の月平均値（大阪府）	
1975年8月	31.9℃
2025年8月	35.4℃

出典：気象庁

ゼロカーボンに向けた市の取組み

ゼロカーボンとは、二酸化炭素(CO₂)などの温室効果ガスの排出量から、森林など自然が吸収する量を差し引いて「実質ゼロ」にすることをいいます。

市では、脱炭素社会の実現に向けて泉北クリーンセンターで発電したグリーン電力（太陽光などの再生可能エネルギーによって作られた電力）を活用し、地域新電力会社「株式会社エネくる泉北」を設立し、市内でつくった電気を市内で消費する「**エネルギーの地産地消**」を本格的に進めています。

また、臨海コンビナートでは、CO₂を排出しない燃料「アンモニア」を活用した新たな拠点づくりをめざす取組みや、CO₂をリサイクルしてつくる新しいガス「e-メタン」の社会実装に向けた検討も進められています。

今後も企業・府・市が力を合わせ、持続可能な未来に向けて温室効果ガスの削減に取り組んでいきます。

Pick up
02

家庭用燃料電池 (エネファーム) 設置補助制度



市内で自らが所有し居住する住宅（店舗等併用住宅及び分譲住宅を含む）に、家庭用燃料電池（エネファーム）を設置された方に対して設置費用の一部を補助します。詳細はこちら▶▶▶



Pick up
03

家庭用 生ごみ処理機等 購入補助制度



市内の一般家庭から排出される生ごみの減量化及び資源化の促進を図るため、生ごみ処理機等を購入し、設置された方に対して購入費用の一部を補助します。詳細はこちら▶▶▶





生活の中で私たちにできること



生活の中で意識して 節電してみよう！

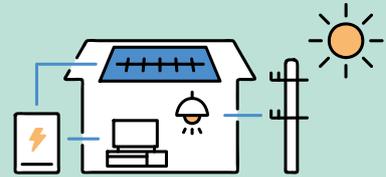


電気の使用量を減らすことは、発電所で燃やす燃料を減らし、CO₂の排出量が減ることにつながります。例えば、電球を LED 照明に切り替える、使わない電気はこまめに消すなど、日常のちょっとした心がけも節電につながります。



太陽光発電設備（太陽光パネル） & 家庭用蓄電池で脱炭素へ

太陽光発電設備（太陽光パネル）は、光から電気をつくるので発電時に CO₂を出しません。蓄電池は、昼に発電した電気をためて夜に使えるので、電気を無駄なく利用できます。**高石市ゼロカーボン推進補助金**（下記参照）を活用して導入してみませんか。



ゴミの減量・分別・生ごみの リサイクルで CO₂の削減

ゴミを減らすことは、ゴミの収集・運搬・焼却にかかるエネルギーや燃料の削減につながり、CO₂排出量を抑える効果があります。また、生ごみをリサイクルすることも大切です。市では、**家庭用生ごみ処理機等購入補助制度**（下記参照）を設けていますので、活用してみたいはいかがでしょうか。



移動手段を 工夫してみよう！

車の利用をできるだけ控えることは、燃料の消費を減らし、CO₂の排出削減につながります。また、公共交通機関を優先して使ったり、近距離の移動は徒歩や自転車にしたりすることも効果的です。

市では、**シェアサイクルの実証実験**をしていますので利用してみたいはいかがでしょうか。



市の補助制度 ゼロカーボンに向けた

New!
Pick up
01

太陽光発電設備・蓄電池購入費の一部を補助します！

高石市ゼロカーボン推進補助金

個人向け 対象者：高石市民及び市内居住予定者

太陽光発電設備
(太陽光パネル)



補助額：7万円/kW

※主な要件等は市ホームページをご確認ください。

蓄電池



補助額：価格(円/kWh)の1/3
(ただし、14.1万円/kWh(工事費込み・税抜き)の1/3を上限とする)
1kWhあたり最大4.7万円！

太陽光発電設備（太陽光パネル）や蓄電池（個人のみ対象）を新たに設置する個人・事業者への補助制度です。なお、本事業は、環境省の地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（重点対策加速化事業）を活用しています。詳細はこちら▶▶▶

